



なかしん

中小企業景況レポート

No.8 中栄信用金庫 地域支援部

平成25年7月～9月実績と平成25年10月～12月見込み

◆調査概要

調査時期 平成25年9月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 308社
回答企業数 300社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	86	84	97.6
卸売業	22	21	95.4
小売・飲食業	62	59	95.1
サービス業	41	41	100.0
建設業	53	52	98.1
不動産業	44	43	97.7
合 計	308	300	97.4

◆7月～9月期の概況

～4期ぶりに悪化に転じる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は前回調査（平成25年4月～6月期）に比べ6.0ポイント悪化の▲18.4を示し、4期ぶりに悪化に転じました。政府・日銀の政策効果への期待感や一部の個人消費の動きにより、昨年9月期調査を底に景況感は持ち直したものの、特別調査からも見て取れる通り、アベノミクスにおける政策が自社の業況に「影響はない」と回答する企業が約4割、「どちらともいえない」との回答が約5割となり、今回調査では売上・収益共に前回の上回る程の改善には至らなかったことから、景気回復の実感に乏しい状況となっております。また、同業者間の価格競争、取引先からの値下げ要請により、電気料金、燃料・原材料価格の上昇分を十分に販売価格へ転嫁できず、コスト負担が増加したことも、企業マインドの持続的な改善の足かせとなり、収益環境は厳しいものと思われます。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比7.4ポイント悪化の▲5.4、収益実績D.I.は前回調査比4.6ポイント悪化の▲11.3となっております。また、仕入価格D.I.は7.0ポイント上昇の33.8と高止まりが長期化し、資金繰りは横這いの▲18.0、人手不足については、3.7ポイント不足感が強まり▲13.4となっております。

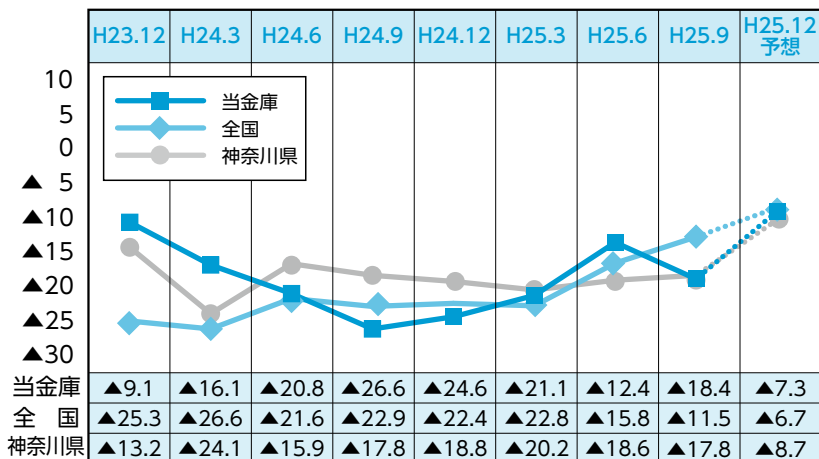
また、業種別の景況感では、不動産、小売・飲食業以外の4業種で悪化し、D.I.値については、不動産業が7.1ポイント改善し0.0、小売・飲食業が6.3ポイント改善し▲28.8、サービス業が24.5ポイント悪化し▲26.9、製造業が9.7ポイント悪化し▲25.0、卸売業が9.6ポイント悪化し▲14.3、建設業が7.8ポイント悪化し▲5.9となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業の業況判断D.I.は、前回調査から4.3ポイント改善の▲11.5、神奈川県内は、0.8ポイント改善の▲17.8となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は11.1ポイント改善の▲7.3、売上額D.I.は11.7ポイント改善の6.3、収益D.I.は12.6ポイント改善の1.3の予想となり、業種別では、卸売業、不動産業は悪化の見込み、サービス業、建設業、製造業、小売・飲食業の4業種については、改善見込みとなっております。

業況判断D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

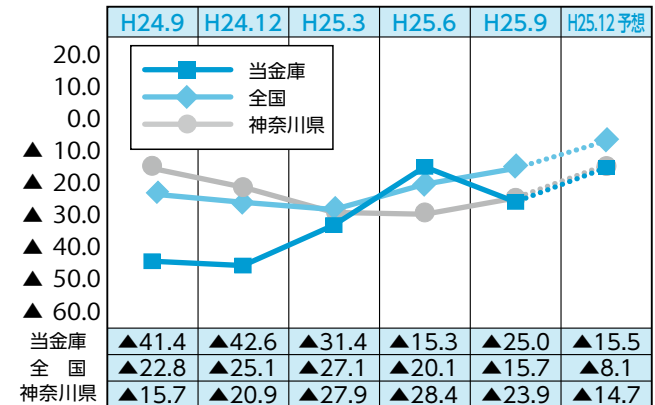
概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 9.7 ポイント悪化の▲25.0 と 3 期ぶりに悪化となりました。項目別では、売上額 D.I. は 13.1 ポイント悪化の▲7.2、収益 D.I. は 9.6 ポイント悪化の▲16.6、資金繰りは 1.3 ポイント悪化の▲19.0 となっております。独自の技術や新商品の開発に力を入れ、一部では海外需要の取り込みに向けた動きがあるものの、総体的には、下記の経営上の問題点に挙げられる販売納入先からの値下げ要請に加え、円安などを背景とした燃料・原材料価格上昇分の価格転嫁が難しいことから売上・収益が減少し、企業マインドの悪化につながったものと思われ、依然としてマイナス域での推移となっております。

なお、全国は 4.4 ポイント改善の▲15.7 となっており、神奈川県は 4.5 ポイント改善の▲23.9 となっております。

来期の予想業況判断は 9.5 ポイント改善の▲15.5 と予想され、機械設備の購入を検討する声も見られます。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	34.1	37.7	28.2	D.I. 5.9
当期実績	26.1	40.6	33.3	▲7.2
来期予想	23.8	54.8	21.4	2.4
前年同期比	27.3	35.8	36.9	▲9.6

販売価格

前期実績	-7.0	76.6	16.4	D.I. ▲9.4
当期実績	-3.5	83.5	13.0	▲9.5
来期予想	-3.5	88.2	8.3	▲4.8

在庫

前期実績	2.3	95.4	2.3	D.I. 0.0
当期実績	-3.5	88.2	8.3	▲4.8
来期予想	-2.3	87.0	10.7	▲8.4

人手

前期実績	18.8	70.7	10.5	D.I. 8.3
当期実績	13.0	78.7	8.3	4.7
来期予想	14.4	72.4	13.2	1.2

収益

前期実績	23.5	46.0	30.5	D.I. ▲7.0
当期実績	21.4	40.6	38.0	▲16.6
来期予想	23.8	47.7	28.5	▲4.7
前年同期比	21.4	41.7	36.9	▲15.5

原材料価格

前期実績	29.4	64.8	5.8	D.I. 23.6
当期実績	40.4	58.5	1.1	39.3
来期予想	27.3	70.4	2.3	25.0

資金繰り

前期実績	-7.0	68.3	24.7	D.I. ▲17.7
当期実績	-10.7	59.6	29.7	▲19.0
来期予想	-8.3	66.7	25.0	▲16.7

設備状況

前期実績	-6.0	83.2	10.8	D.I. ▲4.8
当期実績	-4.8	83.1	12.1	▲7.3
来期予想	-2.4	84.1	13.5	▲11.1

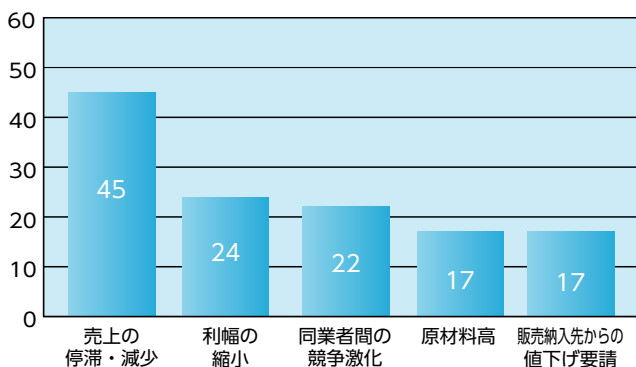
当期実績…25年 7～ 9 月期
来期予想…25年10～12 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

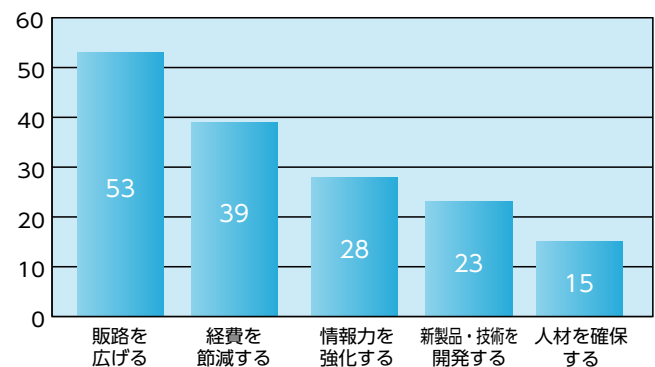
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸 売 業

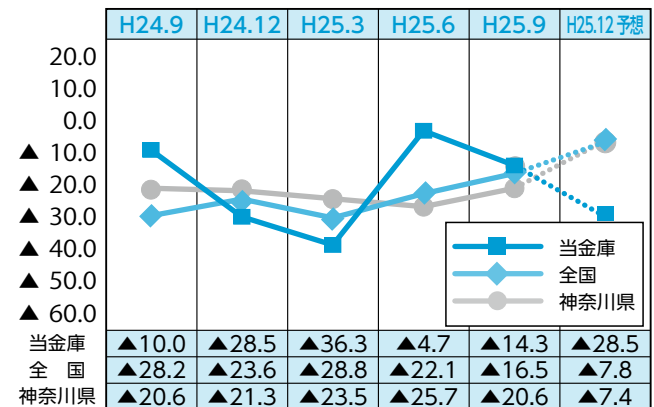
概 況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 9.6 ポイント悪化の▲14.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前期に比べ 14.3 ポイント改善の 4.8、収益 D.I. は横這いの▲4.8 となっております。売上額 D.I. が改善し、一部の建築資材卸売業において徐々に価格転嫁の動きがあり販売価格は 4.8 となるものの、円安に伴う燃料・原材料高により、仕入価格は 33.3 と高止まりを示し、資金繰りは前回調査から 4.8 ポイント悪化の▲33.3 と改善には至らなかったことから、総体的には厳しい経営環境が続いております。また、輸入原材料を取扱う企業においては、円安への懸念から、流通経路の見直しを検討する動きが見られます。

なお、全国は 5.6 ポイント改善の▲16.5 となっており、神奈川県は 5.1 ポイント改善の▲20.6 となっております。

来期の予想業況判断は 14.2 ポイント悪化の▲28.5 と 2 期連続の悪化が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	19.0	52.5	28.5	D.I. ▲9.5
当期実績	23.8	57.2	19.0	4.8
来期予想	-9.5	62.0	28.5	▲19.0
前年同期比	28.5	38.2	33.3	▲4.8

販売価格

前期実績	14.2	76.3	9.5	D.I. 4.7
当期実績	9.5	85.8	4.7	4.8
来期予想	9.5	85.8	4.7	4.8

在庫

前期実績	19.0	81.0		D.I. 19.0
当期実績	14.2	85.8		14.2
来期予想	9.5	90.5		9.5

人手

前期実績	14.2	62.0	23.8	D.I. ▲9.6
当期実績	14.2	66.8	19.0	▲4.8
来期予想	9.5	71.5	19.0	▲9.5

収益

前期実績	19.0	57.2	23.8	D.I. ▲4.8
当期実績	19.0	57.2	23.8	▲4.8
来期予想	-4.7	71.5	23.8	▲19.1
前年同期比	28.5	38.2	33.3	▲4.8

仕入価格

前期実績	33.3	66.7		D.I. 33.3
当期実績	38.0	57.3	4.7	33.3
来期予想	19.0	76.3	4.7	14.3

資金繰り

前期実績	71.5	28.5		D.I. ▲28.5
当期実績	66.7	33.3		▲33.3
来期予想	66.7	33.3		▲33.3

設備状況

前期実績	90.5	9.5		D.I. ▲9.5
当期実績	94.8	5.2		▲5.2
来期予想	89.5	10.5		▲10.5

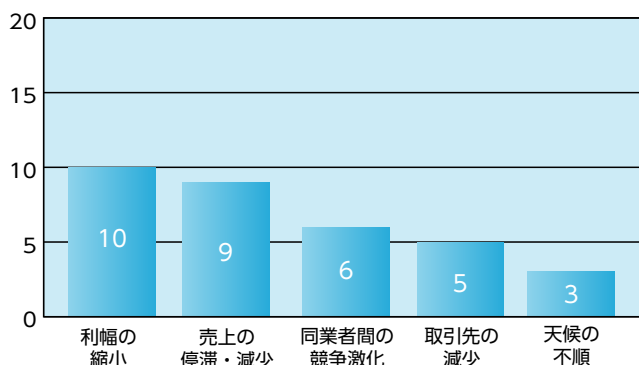
当期実績…25年 7～ 9 月期
来期予想…25年10～12 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

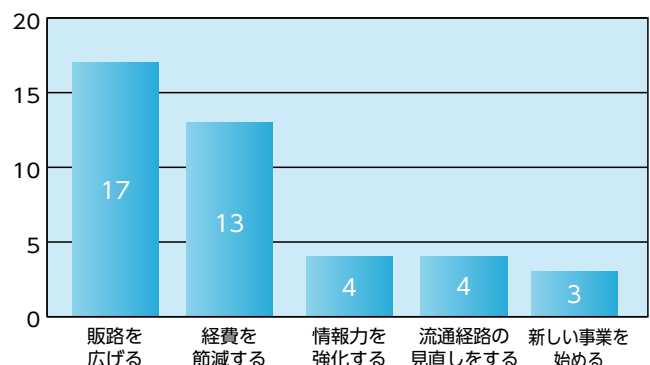
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

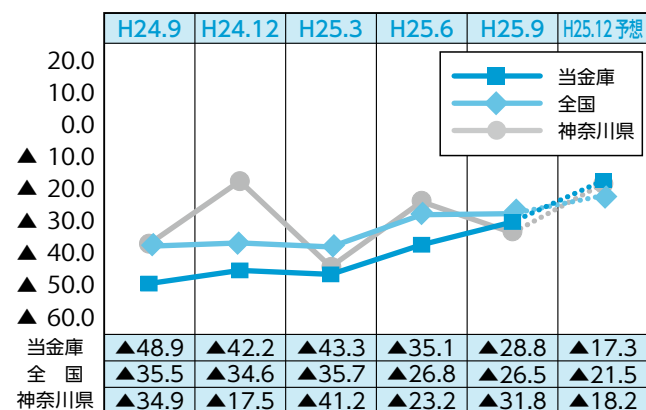
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.3 ポイント改善の▲28.8 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 4.6 ポイント悪化の▲18.6、収益 D.I. は 4.2 ポイント改善の▲18.6、資金繰りは 4.0 ポイント改善の▲17.0 となっております。食料品の値上げが相次ぎ、飲食業、飲食料品小売業を中心に、仕入先からの値上げ要請を問題点と挙げる企業が増加し、仕入価格は 15.0 ポイント上昇の 43.1 となる中、労働時間の調整による労務コストの削減や仕入ルートの見直しなどの経費削減努力から、収益が僅かながら改善し、業況改善に至ったものと思われます。

なお、全国はほぼ横這いの▲26.5 となっており、神奈川県は 8.6 ポイント悪化の▲31.8 となっております。

来期の予想業況判断は▲17.3 と 11.5 ポイントの改善が予想され、年末需要の取り込みに向け、新商品や新メニューを検討する企業も見受けられます。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	24.5	37.0	38.5	D.I. ▲14.0
当期実績	23.7	34.0	42.3	▲18.6
来期予想	32.2	50.9	16.9	15.3
前年同期比	22.0	28.9	49.1	▲27.1

販売価格

前期実績	-10.5	80.8	8.7	D.I. 1.8
当期実績	17.2	70.8	12.0	5.2
来期予想	17.2	79.4	3.4	13.8

在庫

前期実績	17.5	72.0	10.5	D.I. 7.0
当期実績	20.3	78.1	1.6	18.7
来期予想	16.9	81.5	1.6	15.3

人手

前期実績	9.0	72.9	18.1	D.I. ▲9.1
当期実績	-6.7	76.4	16.9	▲10.2
来期予想	-3.4	76.0	20.6	▲17.2

収益

前期実績	12.2	52.8	35.0	D.I. ▲22.8
当期実績	16.9	47.6	35.5	▲18.6
来期予想	23.7	61.1	15.2	8.5
前年同期比	13.5	37.4	49.1	▲35.6

仕入価格

前期実績	29.8	68.5	1.7	D.I. 28.1
当期実績	44.8	53.5	1.7	43.1
来期予想	34.4	65.6		34.4

資金繰り

前期実績	-3.5	72.0	24.5	D.I. ▲21.0
当期実績	-6.7	69.6	23.7	▲17.0
来期予想	-1.6	73.0	25.4	▲23.8

設備状況

前期実績	-3.6	83.7	12.7	D.I. ▲9.1
当期実績	-5.2	82.6	12.2	▲7.0
来期予想	-5.3	78.7	16.0	▲10.7

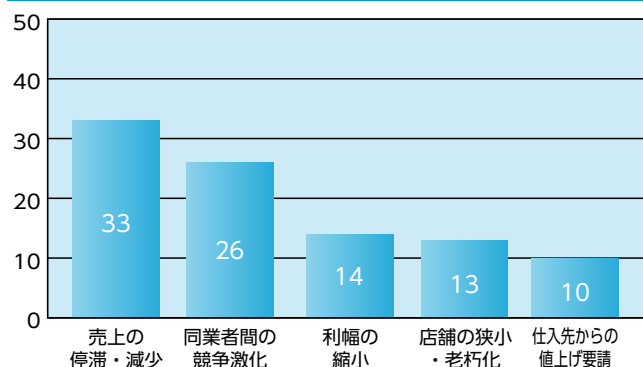
当期実績…25年 7～ 9 月期
来期予想…25年10～12 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

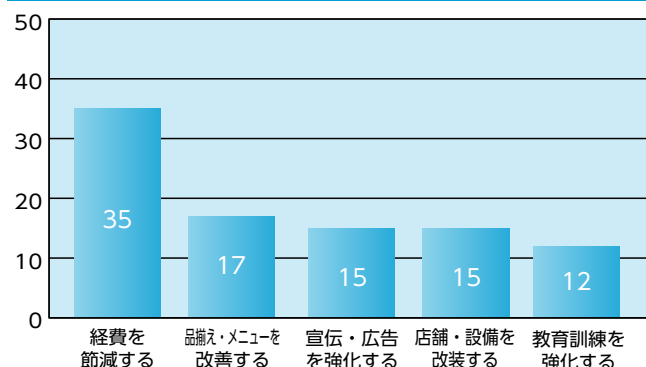
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

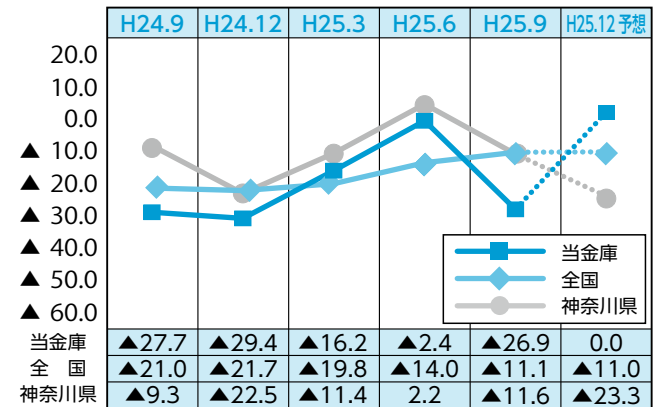
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 24.5 ポイント悪化の▲26.9 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 23.9 ポイント悪化の▲4.8、収益 D.I. は 26.8 ポイント悪化の▲24.4、資金繰りは 7.9 ポイント悪化の▲34.1 となっております。これは春の季節需要の反動による売上減少に加え、消費者の低価格志向が根強いことから、同業者間の価格競争が続き、光熱費や原材料価格上昇分の価格転嫁が十分にできていない状況が、主要項目の連鎖的悪化を招いているものと思われます。また、設備状況の不足感が強まり、老朽化に伴う店舗・設備の改装を検討する声も徐々に増加しておりますが、業況を見極め慎重に対応していく様子が見受けられます。

なお、全国は 2.9 ポイント改善の▲11.1 となっており、神奈川県は 13.8 ポイント悪化の▲11.6 となっております。

来期の予想業況判断は 26.9 ポイント改善の 0.0 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	35.7	47.7	16.6	D.I. 19.1
当期実績	31.7	31.8	36.5	▲4.8
来期予想	29.2	41.6	29.2	0.0
前年同期比	31.7	41.5	26.8	4.9

料金価格

前期実績	7.1	90.6	2.3	D.I. 4.8
当期実績	2.4	92.8	4.8	▲2.4
来期予想	9.7	87.9	2.4	7.3

資金繰り

前期実績	7.1	59.6	33.3	D.I. ▲26.2
当期実績	7.3	51.3	41.4	▲34.1
来期予想	7.3	48.8	43.9	▲36.6

設備状況

前期実績	2.3	73.9	23.8	D.I. ▲21.5
当期実績	2.5	65.0	32.5	▲30.0
来期予想	65.0	35.0	▲35.0	

収益

前期実績	23.8	54.8	21.4	D.I. 2.4
当期実績	17.0	41.6	41.4	▲24.4
来期予想	26.8	44.0	29.2	▲2.4
前年同期比	31.7	31.8	36.5	▲4.8

材料価格

前期実績	21.4	78.6		D.I. 21.4
当期実績	21.9	75.7	2.4	19.5
来期予想	26.8	70.8	2.4	24.4

人手

前期実績	4.7	69.2	26.1	D.I. ▲21.4
当期実績	4.8	70.9	24.3	▲19.5
来期予想	2.4	70.8	26.8	▲24.4

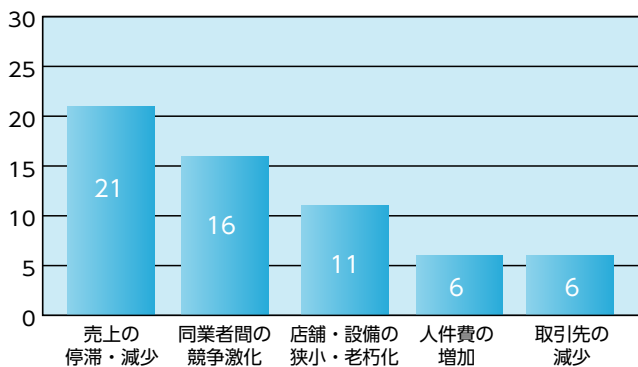
当期実績…25年 7～ 9 月期
来期予想…25年10～12 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

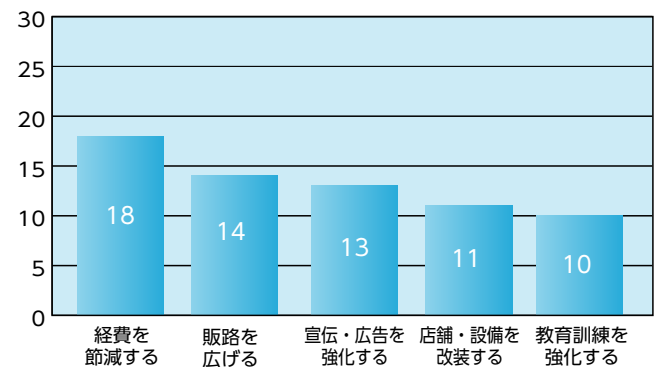
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.8 ポイント悪化の▲5.9 と 3 期連続の悪化となりました。

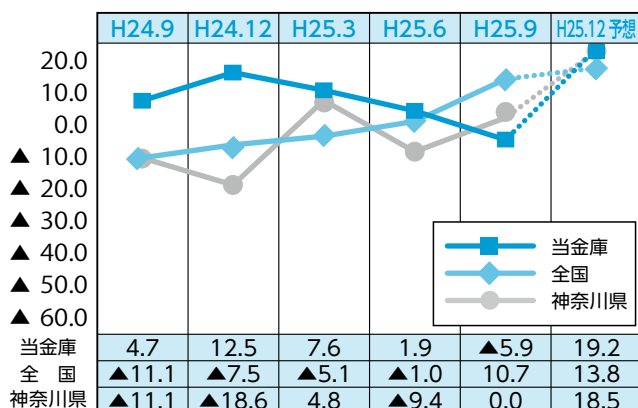
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比から横這いの 1.9、収益 D.I. は 5.7 ポイント改善の 1.9 となっております。

安定的に工事受注を確保する声も多く見受けられ、人手も▲40.3 と 13.9 ポイント不足感が強まる中、材料価格は 6.6 ポイント上昇の 50.0 と、半数の企業が燃料や建築資材価格などの材料価格が上昇したと回答しており、材料コストの負担感が増しております。また、仕入れや外注費等の支払いが先行し、資金繰りに苦慮する企業も見られることから業況の改善には至らず、今後については利益率確保のため、工事の採算や工期管理が課題となっております。

なお、全国は 11.7 ポイント改善の 10.7 となっており、神奈川県は 9.4 ポイント改善の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断は、19.2 と 25.1 ポイントの改善が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	28.3	45.3	26.4	D.I. 1.9
当期実績	30.7	40.5	28.8	1.9
来期予想	34.6	53.9	11.5	23.1
前年同期比	36.5	32.8	30.7	5.8

請負価格

前期実績	-11.3	81.2	7.5	D.I. 3.8
当期実績	9.6	77.0	13.4	▲3.8
来期予想	9.6	75.1	15.3	▲5.7

在庫

前期実績	-5.7	92.4	1.9	D.I. 3.8
当期実績	-3.8	90.5	5.7	▲1.9
来期予想	-1.9	94.3	3.8	▲1.9

人手

前期実績	-3.7	66.2	30.1	D.I. ▲26.4
当期実績	59.7	40.3		▲40.3
来期予想	57.7	42.3		▲42.3

収益

前期実績	20.7	54.8	24.5	D.I. ▲3.8
当期実績	26.9	48.1	25.0	1.9
来期予想	28.8	55.9	15.3	13.5
前年同期比	34.6	36.6	28.8	5.8

材料価格

前期実績	45.2	53.0	1.8	D.I. 43.4
当期実績	51.9	46.2	1.9	50.0
来期予想	48.0	50.1	1.9	46.1

資金繰り

前期実績	-11.3	62.3	26.4	D.I. ▲15.1
当期実績	-7.6	69.4	23.0	▲15.4
来期予想	9.6	69.3	21.1	▲11.5

設備状況

前期実績	96.2	3.8		D.I. ▲3.8
当期実績	-3.9	94.2	1.9	2.0
来期予想	-1.9	96.2	1.9	0.0

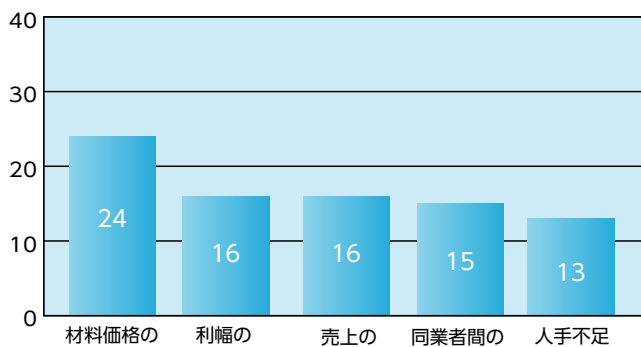
当期実績…25年 7～ 9 月期
来期予想…25年10～12 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

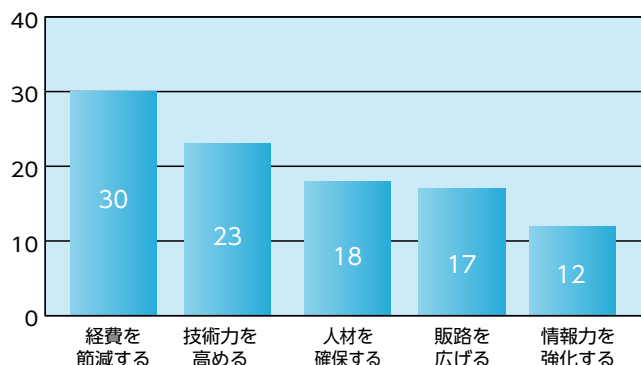
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

●概況

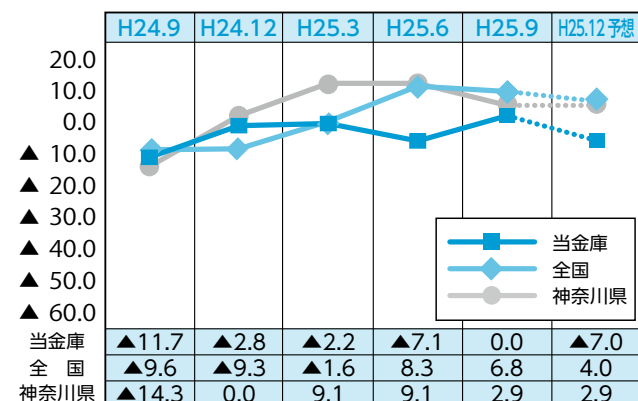
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.1 ポイント改善の 0.0 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 2.4 ポイント悪化の 2.3、収益 D.I. はほぼ横這いの 2.3、資金繰りは 7.1 ポイント改善の 2.4 となっております。一部地域では、消費増税前の駆け込み需要もあり、売上額 D.I. はプラス域を維持し、資金繰りも改善しておりますが、在庫は▲44.2 と調査以来最も商品の不足感が強まっており、住宅ローン減税の延長・拡張策や住宅ローン金利による需要の動向に注視しながら、採算性を踏まえた仕入れが課題となっております。

なお、全国は 1.5 ポイント悪化の 6.8 となっており、神奈川県は 6.2 ポイント悪化の 2.9 となっております。

来期の予想業況判断は、7.0 ポイント悪化の▲7.0 と予想されております。

●業況判断D.I.値



売上額

前期実績	26.1	52.5	21.4	D.I. 4.7
当期実績	30.2	41.9	27.9	2.3
来期予想	20.9	58.2	20.9	0.0
前年同期比	34.8	32.7	32.5	2.3

販売価格

前期実績	4.7	81.1	14.2	D.I. ▲9.5
当期実績	6.9	76.9	16.2	▲9.3
来期予想	4.6	79.2	16.2	▲11.6

在庫

前期実績	9.7	44.0	46.3	D.I. ▲36.6
当期実績	6.9	42.0	51.1	▲44.2
来期予想	7.1	40.6	52.3	▲45.2

人手

前期実績	4.8	75.7	19.5	D.I. ▲14.7
当期実績		81.4	18.6	▲18.6
来期予想		79.1	20.9	▲20.9

収益

前期実績	23.8	54.8	21.4	D.I. 2.4
当期実績	23.2	55.9	20.9	2.3
来期予想	20.9	60.5	18.6	2.3
前年同期比	25.5	44.3	30.2	▲4.7

仕入価格

前期実績	14.6	83.0	2.4	D.I. 12.2
当期実績	11.6	81.5	6.9	4.7
来期予想	13.9	79.2	6.9	7.0

資金繰り

前期実績	11.9	71.5	16.6	D.I. ▲4.7
当期実績	9.3	83.8	6.9	2.4
来期予想	6.9	86.2	6.9	0.0

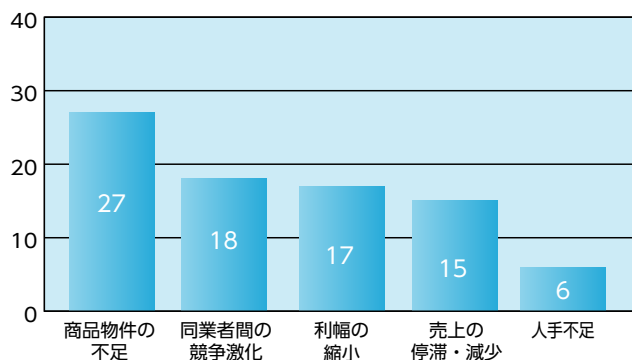
当期実績…25年 7～9月期
来期予想…25年10～12月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

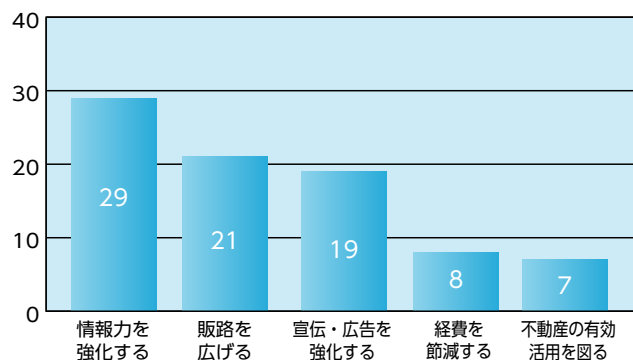
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



当金庫のお客様 308社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 「アベノミクス」において「第1の矢」とされる「大胆な金融緩和（円高是正・量的緩和等）」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを1つお答えください。また、「第2の矢」とされる「機動的な財政政策（大規模な公共投資等）」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを1つお答えください。

（第1の矢・金融緩和）

- 良い影響があった 13 社
- どちらともいえない 157 社
- 悪い影響があった 17 社
- 影響はない 119 社

（第2の矢・財政政策）

- 良い影響があった 9 社
- どちらともいえない 158 社
- 悪い影響があった 4 社
- 影響はない 119 社

問2. 「アベノミクス」において「第3の矢」とされる「民間投資を喚起する成長戦略」について、どのような分野での成果を期待しますか。あてはまるものを最大3つまでお答えください。

- 1 位 経済連携の推進 98 社
- 2 位 規制改革の推進 96 社
- 3 位 産業の新陳代謝の円滑化 90 社
- 4 位 責任あるエネルギー政策の構築 85 社
- 5 位 地球温暖化対策の見直し 44 社

- 6 位 資源確保・インフラ輸出戦略の推進 41 社
- 7 位 若者・女性の活躍推進 36 社
- 8 位 攻めの農業政策の推進 27 社
- 9 位 クールジャパンの推進（「日本の魅力」の発信） 24 社
- 10 位 イノベーション・IT 政策の立て直し 20 社

問3. 貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、賃金を引き上げましたか。あてはまるものを1つお答えください。また、今後（1年以内）賃金を引き上げる予定はありますか。あてはまるものを1つお答えください。

（現在）

- 引き上げた 24 社
- 据え置いている 270 社
- 引き下げた 8 社

（今後）

- 引き上げる予定 39 社
- 据え置く予定 174 社
- 引き下げる予定 8 社
- わからない 74 社

問4. 「アベノミクス」では女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業者数に占める女性社員の割合はおおよそどのくらいですか。あてはまるものを1つお答えください。また、中期的に（3～5年後）女性社員の雇用について、どのように対応する予定ですか。あてはまるものを1つお答えください。

（割合）

- 10%未満 124 社
- 10%以上～30%未満 72 社
- 30%以上～50%未満 38 社
- 50%以上～70%未満 31 社
- 70%以上 23 社

（雇用）

- 増やす予定 42 社
- 変えない予定 231 社
- 減らす予定 4 社
- その他 14 社

問5. 貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、設備投資を増やすとすれば、どのような内容が考えられますか。あてはまるものを最大3つお答えください。

- 1 位 設備の更新、維持、補修 172 社
- 2 位 車両・事務用機器 74 社
- 3 位 生産能力の拡大のための設備機械 64 社
- 4 位 省力化、合理化のための設備機械 53 社
- 5 位 事業用の土地・建物 52 社

- 6 位 新製品・新事業進出 44 社
- 7 位 IT の導入など情報化投資 33 社
- 8 位 研究開発・市場調査 26 社
- 9 位 その他 11 社



ミラサポのご紹介



今号では、中小企業や自営業者の皆さまをサポートする情報提供サイト「ミラサポ」をご紹介します。

【「ミラサポ」とは?】

日本の99%を占める中小企業・小規模事業者420万社と、経営支援を行う支援機関や専門家のための中小企業庁の委託事業「ビジネス創造等支援事業」によるインターネットサービスです。

【利用のポイント】

- ① 国や公的機関の支援情報や施策など、ニーズに応じて必要な情報が取得できる
- ② 一部の補助金の申請をミラサポ上で行うことができる
- ③ テーマごとのコミュニティで、他の経営者や専門家と情報交換ができる
- ④ 個々の経営課題に応じて、オンライン上で専門家からアドバイスがもらえる
- ⑤ 地域プラットフォームを活用した専門家派遣サービスが受けられる

※当庫は、県内の中小企業支援機関で構成された「かながわ中小企業支援プラットフォーム」へ参加し、国が実施する専門家派遣事業の窓口となっております。

（詳しくは、ホームページをご覧ください。<https://www.mirasapo.jp/>）